

特集
1

平成
23年

豊川市

10
大ニュース

市では「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち」を目指し、さまざまな施策に取り組んでいます。市長の思う平成二十三年豊川市十大ニュースを発表します。(十二月五日現在・日付順)



4月1日

新市民憲章の制定

市民憲章推進協議会が新しい市民憲章を定めました。新しい市民憲章では、市民の自発的なまちづくりへの参加を促し、市民と行政が協働して、永遠に求める将来像に向けたまちづくりが行われることが期待されます。



3月11日

東日本大震災被災地へ支援のため市職員を派遣

3月11日に発生した東日本大震災の被災地への支援のため、豊川市東日本大震災対策支援本部を設置し、緊急消防援助隊、事務職員など、延べ65人を派遣しました。支援は現在も継続して行っています。



5月16日

豊川市民病院新築起工式

八幡町の新市民病院建設地で工事中の無事を願う新築起工式が行われました。今後、平成25年5月の開院に向けて整備を進めます。



4月24日

旧三町合併後初の豊川市議会議員一般選挙

旧3町(音羽・御津・小坂井町)との合併後初の、任期満了に伴う豊川市議会議員一般選挙が行われ、新しい市民代表30人が決まりました。

- 4・3 新池公園が伊奈町に開園
- 4・24 旧三町合併後初の豊川市議会議員一般選挙
- 5・11 豊川いなり寿司ブランド化による平成二十二年度県内への経済波及効果を約四十億円と発表
- 5・16 豊川市民病院新築起工式
- 5・22 bリーグで浜松・東三河フェニックスが二連覇達成



手取山公園エントランス広場

- 4・1 手取山公園が上長山町に開園
- 4・1 新市民憲章の制定
- 3・11 東日本大震災被災地へ支援のため市職員を派遣



豊川リレーマラソン

- 1・16 豊川リレーマラソンが赤塚山公園で開催され、二百三十三チームが出場

豊川市のこの1年

平成23年



9月1日

**東海理化硬式野球部
都市対抗野球本大会出場**

第82回都市対抗野球大会で東海地区の第1代表として、東海理化硬式野球部が、4年連続5回目となる本大会出場を果たしました。



8月6日・7日

「残された夏へ」上演

東三河演劇祭企画作品として、豊川海軍工廠の被爆をテーマとした市民参加の演劇「残された夏へ」が上演されました。



5月22日

bjリーグで浜松・東三河フェニックス2連覇

プロバスケットボールbjリーグ所属の浜松・東三河フェニックスが2010-2011シーズンで優勝し、2連覇を達成しました。



11月6日

**豊川工業高校陸上部男子・豊川高校駅伝部女子
全国大会へ**

全国高校駅伝競走大会愛知県予選で豊川工業高校陸上部男子が14連覇、豊川高校駅伝部女子が5連覇し、全国大会出場を果たしました。



11月1日

**豊川市コミュニティバス
実証運行開始**

合併により広域となった市全域を対象に、豊川市コミュニティバスの運行を開始しました。基幹路線(6路線)と地域路線(3路線)があり、市民の通院、買い物など日常生活の移動に有効な交通手段となっています。



9月24日・25日

**2011中日本・東海
B-1グランプリ in豊川**

県内で初となる2011中日本・東海B-1グランプリが開催され、2日間で約218,000人が会場を訪れました。

11・12

B級ご当地グルメの祭典「B-1グランプリ in HOMEJ」にいなり寿司で豊川市を盛りあげ隊が出展(13日まで)



旧豊川海軍工廠近代遺跡調査報告会

11・6

旧豊川海軍工廠近代遺跡調査報告会を実施

11・6

豊川工業高校陸上部男子・豊川高校駅伝部女子全国大会へ

11・1

豊川市コミュニティバス実証運行開始

10・5

プリオビル五階の「つどいの広場」リニューアルオープン

10・3

豊川市成年後見支援センター業務開始

10・2

山脇市長再選

9・24

2011中日本・東海B-1グランプリ in豊川(25日まで)

9・21

台風十五号の接近により避難勧告発令、避難準備情報を提供。約百五十人が避難

9・1

東海理化硬式野球部が都市対抗野球本大会出場

8・18

無錫市新区へ友好都市締結後初の中学生使節団を派遣

8・15

旧小坂井町との合併後初となる第九回豊川市市民意識調査の結果を発表

8・6

「残された夏へ」上演(7日まで)